

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援事業所つくしくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日	～	令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日	～	令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援内容について) ①集団活動のレポーターが多く、子供達も楽しく参加しています。 ②学習支援の時間を設けています。 ③子供たち同士で遊ぶ事で、友達に会いたくて来所してくれています。	①子供達が楽しく活動できるように、場合により職員も参加し盛り上げています。 ②『遊ぶ前にすることをやる』という目標に沿って、児童は宿題など最低でも一つは行うようにしています。 ③どの児童でも最初は職員と遊びたがりますが、集団活動で他の児童との関わりを増やせる様にしています。	①児童の年齢やレベルの違いがあり児童全体での活動は制限されることもありますが、方法を検討し実施しています。 ②宿題のない児童も、他の児童と同じようにプリント等を用意して学習するように習慣づけを行っています。 ③児童の日々の様子を観察し興味関心を探り集団活動に取り入れる事で、同じ内容でも飽きずに子供達は楽しんでます。
2	(職員について) ①強度行動障害支援者養成研修 5名修了 ②特別支援教育学習指導員 5名修了 ③些細な事でも職員で共有し、話しあっている。	①行動障害に対して情報を共有し、研修修了職員を中心に対応を検討し、行動障害の軽減を図っています。 ②学習のつまづきに対して、一人一人にあったプログラムを実施しています。 ③児童の当日の体調や様子など、気付きがえています。	①と②、もしくは①と②以外にも、意欲ある職員には研修受講を推奨しています。 ③特に重要と思えることは、職員間で共有するための気づきノートに記入し活用しています。
3	(その他) ①『今日の予定』や『感想』をしっかりと記入する事で、ポイントが増え、おやつを選べる制度により、子供達のやる気がupしています。 ②漢字検定を年1回実施しています。	①感想に自分の希望(食べたいお菓子等)を書き、その希望がかなった時の喜びなどを感じ『伝える』練習をしています。 ②学齢期に沿った級の受験ではなく、自分が学習した級の受験を勧めています。	①言葉ではなく、文章で自分の希望や気持ちを表現できるように『一つの文章にまとめて書く力』を養っていきます。 ②合格する喜びを得て『やればできる』をこども自身が気付き、意欲的に学習に取り組めるよう支援しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>(施設建物について)</p> <p>①トイレが一つしかない。 ②建物が古くなり、壁紙等が破れている箇所がある。</p>	<p>①トイレが一つしかなく、一人の児童が行くと他の児童がつられて行きたくなってしまふ。 ②賃貸物件であり、容易に壁紙等の張替えが行えません。</p>	<p>①トイレが一つしかない事実は変わらないので、何か遊びを始める前に、もしくは余裕をもってトイレに行くように指導しています。 ②壁紙等が古くなりめくれている箇所をあえて破る児童がいます。みんなの施設なので大切にすることを養っていきます。</p>
2	<p>(児童の送迎について)</p> <p>①送迎車は3台しかなく、同じ時刻に下校する学校の場合、3名(3校)しか迎えに行けない。</p>	<p>①今すぐ高価な送迎車両の購入が出来ず、かつ運転できる職員も限られています。</p>	<p>①毎日効率的な送迎ルートを検討し、出来る限り児童に負担を掛けない努力をしています。</p>
3			